

＞「Vision2030」の実現に向けた種まきと刈り取り

事業セグメント別戦略

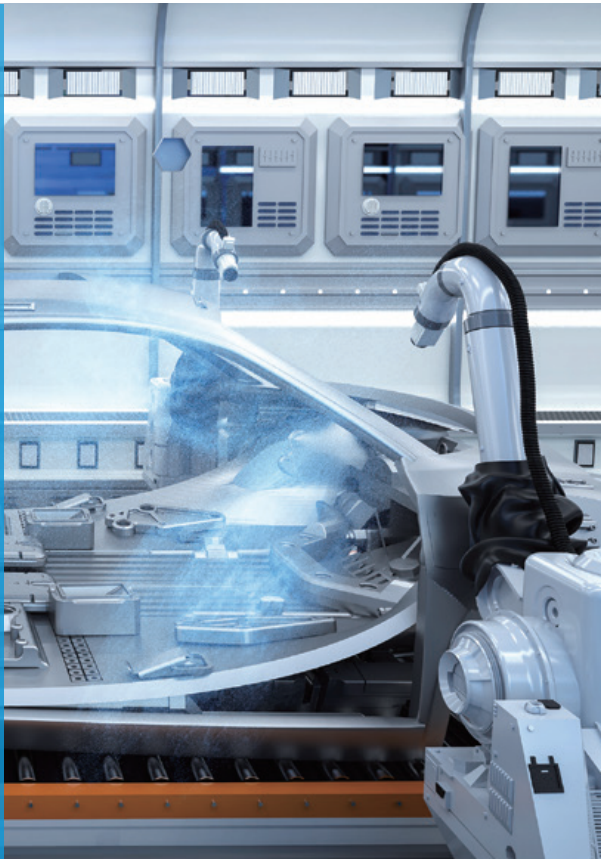
EQUIPMENT

装置事業

装置事業では、前処理設備、塗装設備、粉体塗装設備などの製造・販売を行っています。これらの設備を通じて、生産工程の効率化や資源・エネルギーの有効利用に取り組むお客さまのものづくりを支援しています。

主な事業内容

- 前処理装置
- 電着装置
- 塗装ブース／フィルター
- 塗装機器／ロボット
- 乾燥炉
- 粉体塗装機／粉体ブース
- コンベヤシステム



2026年3月期の事業概況

売上高は276億21百万円(前期比14.1%増)、営業利益は21億16百万円(前期比208.5%増)となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備、塗装設備および粉体塗装設備などを製造・販売しています。インド・中国等で

の販売拡大のほか、国内でも同様に販売増加がありました。その結果、装置事業全体では売上高は増収となり、利益面でも増益となりました。

「Vision2030」の実現に向けた成長戦略

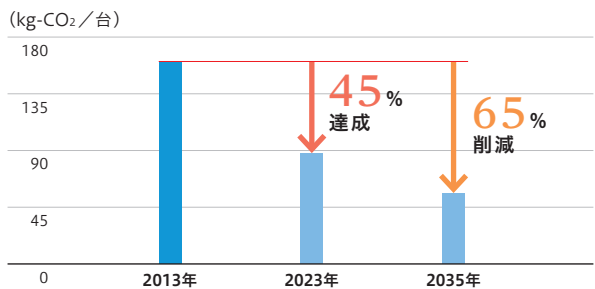
装置事業では、生産設備の高機能化やIoT技術の活用を通じて、製品品質や生産効率の向上に取り組んでいます。また、生産設備の提供に加え、保守・運用サービスの充実を図ることで、お客さまの安定的な設備運用を支援しています。

当社は、お客さまとの継続的な対話を通じて課題やニーズを把握し、それぞれの事業環境に応じた提案に努めています。

装置事業における環境課題への取り組み

パーカーエンジニアリング(株)は、生産設備の提供を通じて、お客さまの製品品質向上と生産性向上を支えています。また、環境課題への対応にも力を入れており、2035年までにモデル塗装ラインのCO₂排出量を2013年比で65%削減することを目標に、技術開発を進めています。省エネ性能の高い設備や生産プロセスの最適化により、環境負荷の低減と持続可能なものづくりの実現に貢献します。

モデル塗装ラインにおけるCO₂削減の状況(2013年比)



省エネルギー・省資源・資源循環に貢献する設備の開発例

1 DRY CUBE化による環境負荷の低減

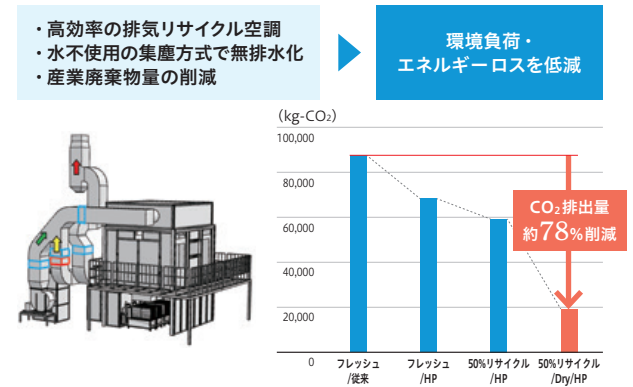
乾式排気フィルター「アレスターパッド」をキューブ化することで、メンテナンス性や運用効率の向上を図っています。本製品は水を使用しない集塵方式を採用しており、集塵工程において排水処理を必要としないことが特長です。

また、使用条件によっては廃棄物発生量の抑制や資源の有効活用につながる可能性があります。さらに、リサイクル空調システムへの適用により、空調エネルギーの効率的な利用を支援し、お客さまの環境負荷低減に向けた取り組みに貢献することを目指しています。

DRY CUBEとは



DRY CUBEシステム

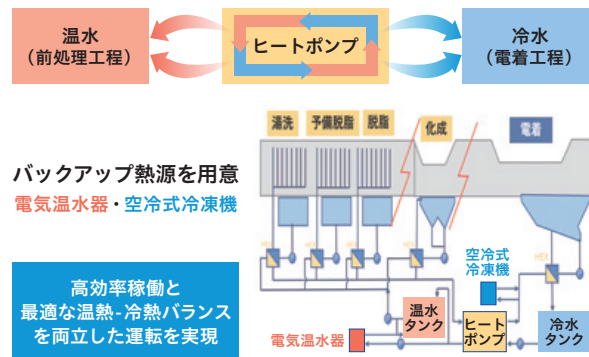


2 ヒートポンプの活用

蒸気をヒートポンプへ置き換えることで、CO₂排出量を削減できます。また、排熱を回収して再利用するため、大幅な省エネ効果が期待できます。

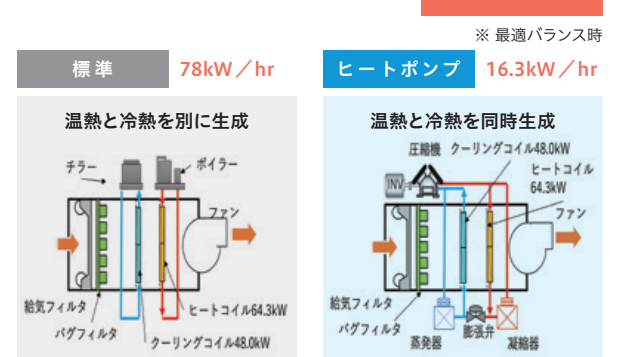
前処理・電着工程でのヒートポンプ採用

前処理温熱と電着冷熱の熱源にヒートポンプを採用



空調装置でのヒートポンプ利用

ヒートポンプでチラーの冷却熱を加温に利用



3 乾燥炉における省エネルギーの取り組み

乾燥炉や脱臭装置から発生する熱を回収し、乾燥工程や前処理工程で再利用することで、熱エネルギーの有効活用に取り組んでいます。また、乾燥炉の電化や水素燃焼技術の活用を進めることで、エネルギー利用の効率化や温室効果ガス排出量の低減につながる技術の開発を進めています。



乾燥炉のさらなる廃熱利用

